

吉田幸子さん（立田）

花を育て続けて20年。花を施設へ寄付したり、自宅の農園で障害者に花作りを指導したりして、南国市を花でいっぱいにするためにかんばっています。



ジ約て市たっい 特豊りっ などもて
ンどて園つ飾で。 (が作思 やなかえ
バナ育南配を花とな心花と じ菜ん考
アを、を花をこんのなけ け白なと
アニ花はえに市るみ)うた だや菜う
ジュの夢植い、すもちよき、花ト野こ
一手類、斜沿てにでたるいす、マのい
リベ種すに道しいし供なてまたト薬てす
フ、0ま戸、りば少子にしいま、農つま
一2い全りたっ にかをて、く無作い



吉本洋子さん
(大垣)

中央公民館の「やきも
庭に窯をもうけるほど
の病みつきに、焼き上
がって、窯を開ける時
は、いつものことなが
ら、心がときめきま
なかなかと思いつり
上がります。少ない
のです。
今では、生きてきた
あかしにと毎日毎日土
と取り組んでいます。

陶芸を始めて16年、
県展でもたびたび受賞
ちかちか、高松市で
の作品展に出展する予
定とかで作品造りに余
念のない吉本さん。

部落差別は、明治以後なぜ

残されてきたのでしよう①

『水平社宣言讃歌』①

宣言文は「全国に散在する
吾が特殊部落民よ団結せよ」
という呼びかけの言葉ではじ
まっています。「特殊部落」
とは、一般でない部落、つま
り、「異常な、特別な人たち
の部落」という意味で、明治
時代の一時期に行政用語とし
て使われた部落の呼称ですが、
被差別部落の人たちにとって
は胸をえぐられる差別語なの
です。

に対する感動を、詩集『水平社
宣言讃歌』に次のようにたく
しています。
「全国に散在する吾が特殊部
落民よ団結せよ！」
何というすばらしい呼びか
けであることよ！
何という誇らしい提言であ
ることよ！そして又、何と
強く祈ふに
応える言葉
であること
よ！
何と勇気を
鼓舞させる
つよい叫び
であること
よ

同和教育
シリーズ

「特殊部落」
この言葉の、何とはらだた
しい言葉であること
よ。
「特殊部落」
この言葉のなんと差別に満
ちた言葉であることよ。
「略」
われわれは、決して特殊で
はないぞ！一略一兄弟よ、
自ら「特殊部落民」と呼び
かけたことは、
自ら「特殊部落民」という
差別語を肯定するものでは
ないぞ。
「特殊部落民」として差別
を受けるが故にこそ、
「全国の特殊部落民よ団結
せよ！」と、よびかけたの
だ。
見よ！決然と呼びかけたこ
の悲壮を！
見よ！昂然と呼びかけたこ
の提言を！
「略」
ああ、何と言う感動的な呼
びかけであることよ！
ああ、世界にさんたる大宣
言は生まれた！
人間解放の大宣言は誕生し
た！
「略」
この大宣言はわれわれの血
潮そのもの！
この大宣言はわれわれの生
命そのもの！
ああ、人の世に熱あれ、人
間に光あれ！
ああ、水平社宣言讃歌！
と高らかにうたいあげていま
す。